

議会だより

No. 39 2014年8月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 関 常 幸
●編 集：議会広報編集特別委員会

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索



棚田の草とり in 栃窪

平成 26 年第 1 回臨時会・6 月定例会の概要	2 頁
一般会計補正予算質疑応答	3 頁
一般質問 18 名が市政を質す	4 ～ 13 頁
各常任委員会・地域医療対策調査特別委員会報告	14 ～ 17 頁
3 月議会の全議決結果・平成 25 年度政務活動費報告	18 ～ 19 頁
「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会報告	20 頁

臨時議会

平成26年度第1回臨時議会が

5月27日に開かれました

どんなことが審議されたの??

——いくつかあるうちの3つを紹介します。

債権放棄の専決処分

水道使用料金 82件で103万8,253円
 病院料金 4件で43万円

どんな理由で放棄したの??

——死亡、所在不明、無財産です。

Q 同じ人が何回も放棄の恩恵を受けることがあるのか。

A 水道使用料金ではあった。

養護老人ホーム魚沼荘工事契約

建築部門で8億460万円

桐生工業・井口建設工業・山崎組共同

企業が落札

電気設備で1億7,982万円

小島電設・吉田電機・陽光電気共同企

業体が落札

機械設備で2億8,782万円

サドヤ・創和共同企業が落札

Q コンクリートと鉄骨では耐用年数が違うが

全面建て替えでの補助金返還の心配は?

A 補助金返還とまらないように長持ちさせて使う。

Q 病院建設のような値上がりでの契約額上昇の心配は?

A 契約の範囲内で収めてもらう。

用語解説

●「専決処分」ってなんのこと?

「専決処分」とは、本来は議会において議決、決定すべき事件を、地方公共団体の長（市長や知事）が議会に代わって決定、処分することです。専決処分をしているケースは法律や条例で決まっています。また、専決処分した事件は議会に報告しなければなりません。

●「債権放棄」ってなんのこと?

水道料金などを滞納している人が、死亡し相続人もいない、所在が不明で請求ができない、債務を支払うための財産が無くこれからも期待できないなどの状況の時、市が「お金をもらえる権利」を放棄することです。

6月定例議会

6月定例会が10・16・17・18・20日の

5日間で開かれました

6月議会の主な役割は何??

——予算を追加したり削ったりすることです。

3月議会で1年間の予算を決めます。その後、前の年の

決算見込みの数字が出ると、また、国や県にお願いして

いた事業が認められると、予算

額を増やしたり減らしたりし

ないといけないのです。

今回、一般会計、病院事業

会計、下水道会計、水道事業

会計、介護保険会計で予算の

変動がありました。そして、

土地開発公社としゃくなげ湖

畔開発公社の経営状況も報告

されました。新市設計画の

5年延長についての議案も審

議されました。

Q 新病院建設費が3月議会

承認より14億円も増えた

のはなぜか?

A 医療機器購入費4億円を

新病院建設費にいられて長

期返済に変えた。人件費

や資材の値上がりで10億円を追加した。

Q 土地開発公社の持っている

土地が売れる予定はある

のか?

A 基幹病院からみて大和地

区は期待している。城内

地区は当面賃貸だが値段

があえば売る。

Q しゃくなげ湖畔は市の支

援がないとやっていけない

状況だろうか。

A 市道と県道と常に通れ

ばまだ売り上げは上がる

が、崩れやすい地形が災

いしている。

Q 新市設計画を5年間延

長するが、当初の計画と

何が変わるのか。

A 10年間で実施しなかった

事業を、特例債事業と

して行うのが主な内容だ。きちんとした財政計画は見直しして議会に示す。

平成26年度 一般会計補正予算(第1号)

3億7,129万円追加し、
総額 352億8,329万円

一般会計補正予算(第1号)

質疑応答 (抜粋)

Q 市立病院建設事業の継続費補正が当初の10億円から14億円に増えた。このままいくと総額で60億円を突破するのではないかと。異常ではないか、改善の見通しは。

A 手術室の一部、放射線室などの備品購入費として3億9,500万円が増えた。資材が値上がりしており、今回未発注分10億円を計上した。もう一度、設計業者が積算、見直しを行っている。それが出たら契約したい。

Q 若者定住促進事業費について、市出身者向けウェブサイトを立ち上げ、ライフスタイル誌の発行を予定している。事業の効果はどういう手法で出すのか。

A ウェブサイトについては、ユーザー向けの情報発信

信は企業ガイドしかない。その拡充と、求人情報や生活情報が一括で見えるような配置にしたい。若者がどのようなものに見えるかを感じてサイトを見ているかをとらえながら、他の自治体に勝てるものを作って行きたい。

ライフスタイル誌では、市内に住んでいる方が幸せに暮らしている姿取材する。それを工夫して紹介する。南魚沼市で前から生活してみたいと思っている方に情報を得てもらおう。住んでみようと思ってもらえるように進める。

Q 塩沢地区の来清東西線のアンダーが完成した。次は石打地区の2本のアンダーをすすめるという事だったが。

A 石打地区の2本のアン

ダーは、都市計画道路として計画決定している。合併協議の中で、塩沢地区は来清東西線と樋渡東西線の2つが計上されていた。樋渡東西線から始めていく。石打については、上関小学校の街路も計画されている。地域の方々と一昨年からワークショップ等を行っている。考え方を統一、成熟させたのち、地元との協議に入っていきたい。

Q メディカルタウン構想の調査委託料とはどういう段階の調査費なのか。

A 基幹病院を中心として、周辺地域と病院がどのような関わりができるかという調査内容である。今回は商工業者との共同で進めてきた。2年前に大和商工会を中心に研究会を立ち上げた。どうしているかは商工会の発展につながるかを研究している。

Q 幼児虐待に関して、3歳6か月の健診を欠席した

A 場合、市では追跡調査をどの程度やっているのか。その後は就学前の調査まで正式な健診はない。3歳児健診は虐待に限らず、その後の成長について、問題をはらんでいる場合がある。保健師が、欠席した幼児への家庭訪問や電話での追跡調査をおこなっている。

Q 大原運動公園の野球場がオープンした。これから落として2,470人の入場であった。地元住民への参加を促す配慮が足りなかったのではないかと。

A これからいろいろな公式戦を行うことをふまえて、今回あえて議員や来賓にも券は配らなかつた。今後、有料事業を継続していくためにも、自分で券を買って来てもらうという考えでおこなつた。

一般質問



■ 質問順位

1. 鈴木 一
2. 中沢 一博
3. 塩川 裕紀
4. 黒滝 松男
5. 笛木 晶
6. 腰越 晃
7. 清塚 武敏
8. 勝又 貞夫
9. 寺口 友彦
10. 岡村 雅夫
11. 中沢 俊一
12. 桑原 圭美
13. 佐藤 剛
14. 塩谷 寿雄
15. 山田 勝
16. 田村 眞一
17. 若井 達男
18. 永井 拓三

一般質問とは…

議員が市の一般事務について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすものです。



歩む会
鈴木 一

人口減少対策として、市職員は家族内一人にできないか

答 法律上無理

Q 質問

市長や職員を責める質問ではない。現在の市の人口減少は止まらない。大学を出ても地元就職口

がない。地区の消防団員の数が足りない。地区の役員を見れば、毎年同じ顔ぶれで若い人がいない。Uターンを促進するためにも、生活の安定を考へるならば役所は親子相思相愛の職場である。憲法の下、職業選択の自由、結婚の自由は保障されている。現在2人で勤めている人に辞めてくださいという話ではない。今後の人たちにそういう方法がないか。

A 市長

憲法上どちらかに辞めていただくことはできない。民間企業経験者枠の募集も実施し

観光行政は森を見て木を見ずだ

答 行政はきちんとやって

Q 質問

2013シーズンのスキー場入り込み客数は5%の伸びがある。長期低落傾向に歯止めがかかったかと錯覚してしまう。「木を見て森を見ず」ではなく「森を見て木を見ず」

である。業者個々の現状を把握できているのか。各観光協会との連携を密にしているのか。

A 市長

行政がきちんとできることを支援していくのが、観光に携わる職員の役割だ。職員がつきっきりで調べるわけにはいかない。スキー場関係者からきちんと情報を提供していただきたい。雪国観光圏、グリーンシーズンを含めて、地域全体として観光を売り込むことが課題だ。



地元では憧れの職場

Q 質問

2040年に89.6%の地方自治体で若年女性が半減し、最終的にはその自治体が消滅する可能性があるとのショックな発表がなされた。行政サービスがその地域からなくなると言う事であり、政治として対応すべき重要な課題である。人口急減回避のためには、井口市長自ら「子育て推進本部長」として、また「人口減少対策本部長」として英知を結集した中で、出生率の向上や地方の活性化が主要なテーマになると考へる。そこで何う、①当市の人口推移の実態と、

子育て支援策強化で、人口減少問題に歯止めを

答 不育症治療に公費助成を実施する様、検討する



南魚みらい創生クラブ
中沢 一博

取り組むべき課題は。

②子育て支援策に、妊娠しても流産を繰り返す不育症の方が多くいる。新たな命を授かる為に不育症治療の公費助成を求めるが。

③保育園・幼稚園の第3子保育料無償化の考えを再度伺う。

A 市長

①昭和25年72,360人がピークで現在59,849人平成45年では47,000人との推測が出ている。社会減少の若年層がこの地域から流出する事が一番の原因である。また出生率を上げる事で人口を減らさない事が今後の重点政策である。大学がある事と就職先を確保する事が大切である。

②不育症治療の公費助成は実施を前提に調査を始める。

③本当の子育て支援につなぐっていくかは検討を加える必要があるので、今現在は実施しない。県の第3子以降へのお祝い金は、就職するまでのトータルの部分はどうするかが一番の問題だから、あまり賛成はしない。



南魚沼らい創幸クラブ
塩川 裕紀

南魚沼市図書館と南魚沼サービス店との連携は

答 加盟店、商店街と協議をしながら進めていく

Q 質問 6月1日に南魚沼市図書館がオープンし、連日たくさん市民から利用していただいている。これほど立派な施設が

六日町駅前という場所にできたにもかかわらず、商店街、商工会との連携が遅れているとの事だ。全国には、地域と一体となつて図書館を中心にして町おこしを行っている自治体がある。現在まで、南魚沼サービス店会の「ふれ愛カード」の満点カードを加盟店でTAXサポート券に交換し、市税の納税に使用できる試みをやってきた。地域の商店街活性化のためにも、南魚沼市図書館で本を借りていただいた方々に、南魚沼サービス店会と連携してポイントをつけてはどうか。

A 市長 南魚沼サービス店会の満点カードは、加盟店のみでなく、市内のタクシー乗車の際にも利用できるなど、これからも広がりを見せる可能性が大きいと思つている。現在、南魚沼サービス店会の会長と、実施に向けた協議を進めている。増加と、地域商業の活性化に繋がる施策なので、実施する方向で検討している。ただ、ポイント目的の来館にならない

ように、さまざまな方面から意見を頂いて実施をする方向で検討している。



えきまえ図書館 本の杜



南魚沼らい創幸クラブ
黒滝 松男

外資による森林買収に歯止めを

答 わが市で外資による買収は確認されていない

Q 質問 国は「水循環基本法」を制定、河川、森林、農地を守り、外資による森林の買収、乱開発に歯止めが期待される。

これを受け、「新潟県水源地域の保全に関する条例」が制定され、水源地域の土地を売買するときは、30日前までに県への届け出が必要となり、本年7月1日より開始される。

①当市の外資による水源地域の売買の実態は。

②当市では所有者不明の森林等はあるのか。

③国・県の動向を踏まえ、市民への周知等今後の対応は。

A 市長 ①大きな面積の外資による売買は確認されていない。

②林業業務では所有者不明の分析は行っていない。

③水は大切な資源だ。ウェブサイトで市報等で情報提供を行うよう準備中だ。

水道水の加温による融雪の導入を

答 実用化できるよう検討する

Q 質問

市街地の井戸規制区域では除・排雪が大変である。水道水の加温による融雪実験に期待している市民も多い。過去2シーズンの実験の結果はどうであったか。一定の効果はあるが、費用対効果等を勘案すると、導入が難しいとの見方もある。その問題点と今後の取り組みについて伺う。

A 市長

電気温水器による融雪実験を受け、効果は十分であると判明した。電気料金が高くなるのがネックだが、消費電力の低減に向けてメーカーに改良を要請している。雪処理の負担軽減と地下水のくみ上げ防止のために、なんとか実用化できるよう検討したい。



ブナ林

Q 質問

大和地区の椎茸栽培を人口定住対策へつなげ、新規就農者を確保し、意欲を持って取り組める体制づくりができないか。市長の考えを伺う

A 市長

農業生産全般における新規就農者の発掘、育成や、農業への就業の場の確保は課題の一つであり、定住促進対策の一つと捉えた中で農業振興に努めていきたい。



歩む会
藤木 晶

椎茸栽培を定住促進対策に

答 定住促進対策の一つと捉えた中で農業振興に努める



椎茸パックセンター

A 教育長

①現在の当市の子ども・若者を取り巻く環境が悪化している。問題を抱える子どもたちや若者も多く、行政の施策・事業としての優先度は高い。
②それぞれの事業での取り組みにより、確実な効果が出ている。

答 優先度の高い施策事業だ

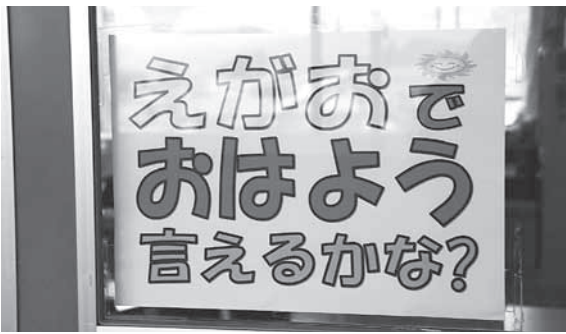
Q 質問

近年少子化が一段と進んでいる。次世代を担う若者や子どもたちの健やかな成長と逞しく生きる力の醸成のための「子ども若者育成支援」は重要度が増している。以下の諸点について伺う。
①施策事業の優先度について如何に考えるか。
②諸施策事業のこれまでの効果と課題について
③今後の展開について
④生涯学習における取り扱いについて



市政クラブ
腰越 晃

課題としては、まず保育園での支援スキルを学校に伝え学校に合う支援を行うこと。次に更に多くの不登校児童生徒の学校への復帰を実現すること。若者の居場所確保から、就労支援のプログラム化や、就労に向けた地域・企業の協力など細やかな対応などがある。
ひきこもりの若者へは継続的な支援が必要である。さらに実態の把握と支援の繋がりも課題である。
③関係機関との連携・相談体制の強化、段階に応じたプログラムの開発等が急務である。
また子ども・若者の環境悪化は深刻である。教育委員会と市長部局が連携し、市をあげた取り組みの強化



2012年 上関小学校にて

が重要である。
④各年代に対応する生涯学習推進計画の策定を目指す。少子高齢化、人口減少、子ども若者育成支援などに対応した、生涯学習の推進に取り組み計画である。
子ども若者育成支援のためには、生涯学習推進計画が不可欠である。



南魚沼市創幸クラブ
清塚 武敏

公衆無線LAN環境整備に向けた取組をどう考えるか

答 商業施設の集客に大きく関係すると認識している

Q 質問 市内主要公共施設や観光地に、公衆無線LANの無料の通信環境を整備提供することは、行政情報の発信はもとより、災害時の通信手段確保や、市内全体の情報化を進める事ができ、行政として積極的に配備する必要があると考える。
①市の公共施設、観光スポット等への今後の設置計画について伺う。
②行政区の緊急一時避難所等に災害に強い公衆無線LANを設置する考えはないか。
③市の公式ウェブサイトの充実、情報発信力に今後どう取り組んで行くのか。

A 市長

①現在本庁舎、図書館を含め7か所、フリースポットを設置している。市の職員が常駐できる施設が望ましい。他の公共施設は指定管理受託者で進めてもらう。
②災害に強いと認識しているが、237か所の避難所には、回線、非常電源の確保も必要であり、設置は困難である。
③ウェブサイトの充実には市の大きなテーマと考える。観光面を考えれば、観光協会や関係者と連携して改善していく。また若者が住んでみたくなる様な情報や魅力ある画像を専用サイトを立ち上げて発信していく。

10年後に向けて、市民の声を

答 総合的に考えて方向性を出す

Q 質問 ①高齢者や女性が安心して駐車できる本庁舎の駐車場整備

備計画は進んでいるか。
②山の日が制定される。市民の山、坂戸山山頂にバイオトイレ設置を。

A 市長

①周辺土地の確保、立体駐車場も視野に考えていく。今年度は区画線幅を広く引き直す予定である。
②国指定の史跡であり、現状では無理である。



フリースポット

市民サービスの拡充と市民目線の改革を

答 今後も市民の要求に応えるよう努力・改善に努める



市政クラブ
勝又 貞夫

Q 質問 南魚沼市の行政改革大綱に「市民参画の推進、市行政組織の改革、人材育成の推進」とあるが、市民サービスの拡充なものか。市政モニター制度が廃止の方向とされたが、新図書館・大原運動公園・魚沼基幹病院・市民病院など、市民の関心事は多いはず。なぜこの時期に廃止なのか。行政改革大綱のアクションプランによる改革の推進と、その評価・公表が十分になされていないと思えない。行政改革大綱の内容が市職員に浸透して

いないことが大きな問題である」とされている。今後の対応は。

A 市長

市政モニター制については、一時は機能していたが、最近では積極的な参画・提言もなく、その効果には疑問があるため、今年度から一時休止とした。他の手段で市民の声を吸い上げるほうが賢明と考える。アクションプランの公表方法は、要求があれば今後も検討する。行政改革大綱の内容が市職員に浸透していないとすれば大きな反省点である。

新図書館は市民の財産。今後も更なる改善を

答 図書館協議会で柔軟に対応していく

Q 質問

新図書館は全市民が無料で利用できる知的空間であると認識している。市民の財産としての図書館をより良く利活用

してもらうためには、多くの改善が必要だ。今後は図書館協議会で検討を重ね、さらなる改善をせよ。

A 教育長

新図書館の管理運営については長期的観点から、市の直営体制となった。運営の基本は「学ぶ、育てる、知る、憩つ」の4点としている。また、中心市街地の活性化の核となることも図書館の持つ課題である。開館以来1日平均1,250人の入館者があり、貸し出しも多い。今年度中に1万2,500冊を追加購入し、蔵書の予定となっている。問題点として、時間帯によってはマナーが守られず騒がしい時がある。加えて今後閲覧席の不足が予想されることである。対策として、入館者のマナー向上を促し、閲覧席の増設や学習室の確保などを、図書館協議会で柔軟に検討していく。



えきまえ図書館 本の杜



新生市民クラブ
寺口 友彦

農地中間管理機構の業務委託についての基本的な考え方は

答 下地は人・農地プランだ

Q 質問

農地集積率80%を目標としているが、一経営体あたりの集

積が問題だ。分散農地の解消が課題であり、一経営体あたりの目標面積をどう決めていくのか。
農地集積に条件の悪いほ場、一枚当たりの面積が少なく、水路、農道の整備が遅れている地域のほ場整備とあわせて集積の方針はどうなっているか。

A 市長

構想には危惧を持っている。下地は人・農地プランだ。貸す人と借りる人の信頼関係が確立しないとだめだ。一経営体あたり10haではなく50haは確保したい。ほ場整備つきの集積は南魚沼市では現実的でない。作るだけではなく売る努力も必要なので農協の役割は販売ルート開拓だ。

答 調査はしないが、40m規制は見直しを提案する

答 調査はしないが、40m規制は見直しを提案する

Q 質問

両区域内の公共道路井戸地図に、国土交通省、新潟県、南魚沼市の井戸が載っている。消費道路の面積と井戸の能力との関係のデータがないと地下水の有効利用ができないのではないか。また、公共施設や民間所有の消費井戸もある。これらを含めた消費井戸の全本数を調べる必要がある。



外谷地区ほ場整備状況

A 市長

公共用の井戸は、地盤沈下区域内に1,272本、周辺地域に1,510本ある。公

Q 質問

武装した自衛隊の市内訓練は疑問。断れなかったか。

答 断る理由はない

自衛隊の夜間行進訓練は断れなかったか



日本共産党議員団
岡村 雅夫

共は有効的な使い方をしているが、民間は相互利用ができない。深さ60mと120mを比べると水温に差があるので、地下水対策委員会に40m規制を改めることを提案している。道路面積当たりの水量は計算してある。

Q 質問

4人に1人が75歳以上の社会になる。子育て・高齢者環境の早急な整備が必要になる。

答 ゆりかごから墓場の直前まで

2025年 少子・超高齢社会の準備を

A 市長 国際情勢の変化で、日本人の命を守るため必要最小限認められる部分があってもよいと思う。私なりに研究しての見解だ。私は憲法9条を改正しろとは言っていない。

Q 質問

集团的自衛権の行使容認の動きがある。米沢市長は「軍事的対応を強めれば戦争に国民が巻き込まれる。憲法9条を守るため行動する」と言っている。

A 市長

行進訓練の向上と防衛基盤の拡充を図る目的で、断る理由はない。

A 市長

- ① 大和病院に老人保健施設の計画を。
 - ② 城内診療所の計画を公表し地域の了解を得て進めよ。
 - ③ 介護予防を図るに、老人福祉センターの充実を。
 - ④ 大崎保育園の駐車場整備を。
- ゆりかごから墓場の直前まで、行政の務めとして努力する。
- ① 大和病院の医師とも相談し、第6期介護保険計画での位置づけを検討する。
 - ② 医療再編の日程が決定し次第、説明に上がる。無床になるが診療所は守る。近辺で福祉施設の計画がある。
 - ③ 充実していく。通信カラオケの設置は難しい。助成事業を検討する。駐車場など用地確保は実態を把握して検討する。
 - ④ 他の場所もあるので財政計画を立て、早急に検討し順位付けしていく。

答

財政面含め、今年度中に提示

新水道ビジョンのコスト面での検証を急げ



新生市民クラブ
中沢 俊一



大崎保育園

Q 質問

南魚沼市の水道料は従来、国内でもまねな高額と言われてきたが、今も状況は大きく変わっていない。そうした中で市は昨年4月、新しい水道ビジョンを発表した。その理念で「市民に安心・安全な水道水を安定的にかつ低い料金で供給する」とうたっている。新しいビジョンがこの理念を実現するものなら、議会として総力を挙げ協力すべきだが、実は今の高い水道料金は、30年前の過大な投資による。以下4点につき新ビジョンの確認をしたい。

- ① 今の浄水場での水の濁りと放射線への見直しは。
- ② 新ビジョンでの大量の地下水くみ上げの及ぼす影響は。
- ③ 古い水道管や施設の更新など、巨額の費用を必要とする事業への影響は。
- ④ 水道料金値下げの見直しは。高い水道料を放置しての新ビジョンなら意味がない。

A 市長

畔地浄水場の電気機械設備はおおむね更新済みであるが、建物の一部を除き、耐震基

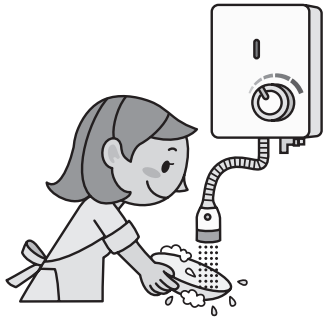
準を満たしていない。全ての基準を満たすには100億円の投資が必要で、大幅な料金値上げを伴うため、新しいビジョンを策定した。

① 川の水を使っている以上、原水の濁りや汚泥中の放射線検出は宿命といえる。

② 地下水位や地盤沈下への影響は検証する必要がある。

③ 資本費平準化債活用などにより影響を軽減する。

④ 今年度内にビジョン財政計画を見直し、議会に提出したい。



市政クラブ
桑原 圭美

小・中学校の課外活動に対する支援拡充を

答 保護者、地域が市と一体となり支えていく

Q 質問

経済は回復基調にあるとはいえ、地域の活性化には至らず、保護者は教育負担に相当に難儀をしていると思う。経済状況の悪化が直接教育の低下につながってはならない。行政と地域から手厚い支援を受けて育った子どもは、やがて地域に貢献するだろう、という仮説のもと積極的な支援をすべきと考える。

塩沢小の天体望遠鏡、プラネタリウムを教育や地域行事、「星の煌めく牧之通り」として観光資源への活用を。

A 市長

修理の手配等、要望に着手している。観光資源化は難しい。

Q 質問

学校図書館と市立図書館の連携、児童の希望する図書を購入について。

A 市長

司書の配置で学校図書館との連携を強める。学校が希望する図書の購入は積極的に支援する。

Q 質問

保護者の送迎に対する負担軽減をどう考えるか。

A 市長

学校配当予算で対応可能と思うが、大会等は市または委託バス、あるいは棚村基金を活用できる。

Q 質問

規模の経済性の観点から、公共交通の研究が必要ではないか。

A 市長

来年実施を目指している。全集落を網羅する目標を持ち、主要な公共施設や病院は立ち寄る。

Q 質問

各学校のスキー道具、音楽楽器の更新について。

A 市長

県知事も前向きであり、各学校の実態調査を速やかに実施して検討を加えていく。



更新時期の過ぎた楽器を使用する金管クラブ



新生市民クラブ
佐藤 剛

来年6月の医療体制はどうなる

答 医療の空白がないように進める

Q 質問

来年6月の魚沼基幹病院開院まで1年に迫った。

めざす地域完結型医療の最終的再編はもう少し時間がかかるだろうが、来年6月時点の医療体制がどうなるか不安がある。

基幹病院はどういう形でスタートするのか。

その時点で市民病院の建設は間に合わないが、体制が整うまでの六日町、塩沢地域の医療はどうするか。その時点の大和病院の診療体制は。

A 市長

基幹病院は454床一斉でなく段階的にスタートする。市民病院は来年春には、機器移設も始まり一部使用できるが、医療の空白にならないために、基幹病院、市民病院等が軌道に乗るまで、現県立六日町病院も診療を行う。大和病院の40床は全体の医療体制に併せて段階的に計画規模に縮小しながら診療する。

基幹病院開院に併せて交通アクセス改善を

答 大和インター24時間対応は、基幹病院開院までに実現したい

Q 質問

国は定住自立圏構想で地方の人口減少対策を図る。

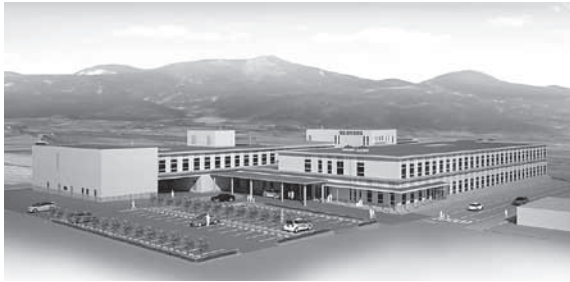
当市も医療、教育環境、地理的優位性に加え、交通網の集積、整備を進めて、定住自立圏形成に取り組む考えはないか。

そのためにも、基幹病院開院に併せ、ほくほく線、只見

線の浦佐駅乗り入れ、浦佐駅在来線ホームのエレベーター設置、大和スマートインター24時間利用可能のための取組み強化を。

A 市長

定住自立圏形成で広域連携を考えていく。ほくほく線、只見線の浦佐駅乗り入れ、浦佐駅在来線エレベーター設置は難しいが取り組みを継続する。大和インター24時間対応は、是非基幹病院開院までに実現したい。



建設中の市民病院イメージ図

学校教育に宿泊、体験学習を入れる取り組みを



歩む会
塩谷 寿雄

答 土曜学習の取り組みの中で検討したい

Q 質問

県外からの小中学生の宿泊体験学習が年々多くなっている。県外の人から見た市内の子どものイメージは、いつも泥んこになり、冬はスキーをいっばいしているというものが、実際はそうでもない。各学校でも田んぼや畑などがあり、取り組んではいる。だが、家からでて宿泊をすることや、多くの大人の話を聞くことが、思い出だけではなく成長において必要な力になる。また放課後行っていた課外学習は、児童保育が整備され、なくなつたと聞かすが、生

きる力を付ける学習だと思う。双方に取り組むべきではないか。

A 教育長

子ども達の体と心を育てる大切な授業だ。新たに授業に加えるのは難しいが、学校現場と協議していく。国の方針や補助制度が活用できるか検討する。

市の学習指導方針を一貫するべき

答 学習指導センターの先生を中心にを行っているが再度検討する

Q 質問

中学3年生は人生を左右する大事な時期だ。担任の先生は、生徒、保護者に解りやすく説明・指導を一貫し、やらなければいけない。この春は魚沼管内の大幅なクラス減により大変な年だった。今年度も受験のやり方が変わると聞かすが、県に来てもらい、しっかり説明をしてもらいたい。挨拶な

ど基本的なことができるだけで学力が上がると聞く。市でも指導していると思うが、今後の取り組みは。

A 教育長

市でも基本的理念を持って取り組んでいる。何としても高校受験に勝つという強い思いで取り組む。県のほうからも市にきて説明をしてもらうよう強く働きかける。





市政クラブ
山田 勝

雇用の場確保推進を

答 庁内プロジェクトチームで進める

職業の選択でのミスマッチは。

A 市長

昨年度庁内設置の「人口減少問題プロジェクトチーム」で真剣に取り組む。

①企業紹介ウェブサイトや、職場の雰囲気の伝わるよう情報発信に努める。

②市内企業は製造業が多いが、詳しく知ればやりがいのある仕事も多い。物作りの大切さをPRする。

③職業能力開発機構と共に進めている。キャリア教育の推進のため更に研究をする。

④IT化の進展と高学歴化により労働環境が二局化しているが、現在の形は長続きするものではないと考える。

森林・山村多面的機能対策への取り組みを

答 待ち望んでいた素晴らしい制度だ

- Q** 質問
- 出による「社会的人口減少」が続いている。若者の地元定着や、都会からのUイターンを進めるためには雇用の場確保が最優先である。
- ①市ウェブサイトで地元企業の紹介がなされていないが、
 - ②全国的に若者が、大企業や知的労働を指向する中で、市内企業の特徴から就職希望への認識は。
 - ③キャリア教育の推進は。
 - ④高学歴社会の現代、企業が求める単純型労働者と、求職をする若者の知識活用型

Q 質問

山林が荒れた状態になっている。共同作業など集落機能も低下している。今後多くの点で弊害が起きることを憂慮する。保全活動への国の支援制度が実施されているうちに道筋を。

A 市長

非常に憂慮はしている。市費を入れてでも、独自策を織り込めてでも進めたい。



荒廃した山林



日本共産党議員団
田村 眞一

親から子へ貧困の連鎖について

答 連鎖は断ち切らなくてはならない

A 市長

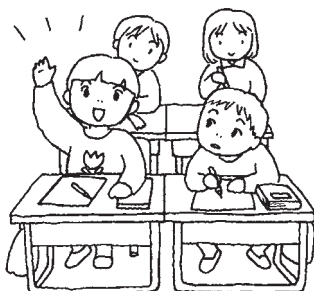
貧困家庭に生まれて一生貧困家庭から抜け出すことができない。この連鎖はきちんと断ち切らなくてはならない。そういう社会にしていきたい。①労働法制の改正が1つの要因だったと思う。

- ②学校現場等で啓発している。
- ③総合窓口は平成23年度から二日町にある「子ども・若者育成支援センター」で業務を始めている。奨学金が返済できない事については、ここに相談に行ってほしい。

Q 質問

子どももの貧困は年々広がり、子どもの6〜7人に1人が貧困状態にある。貧困が親の世代から子どもに連鎖していく現実について市長の見解を伺う

- ①1999年の労働法制改正が貧困の要因と思うが。
- ②「1人で悩みをかかえず、周りの大人に相談してほしい」との声かけメッセージを行っていくべきだが。
- ③若者への総合的支援の相談窓口は。奨学金が返済できない若者への対策は。





南魚みらい創幸クラブ
若井 達男

機は熟した。スポーツ健康都市宣言を

答 合併10周年記念式典も1つの案だ

Q 質問 小野塚彩那さんのソチ冬季オリンピックでの活躍がめざましかったのは記憶に新しい。2016年に当市で開催される知的障がい者冬季全国スポーツ大会「第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」についての体制はいかに。

A 市長 小野塚選手の銅メダル獲得は、一言で言い表せないほど多岐にわたって、当市に大きな効果と元気を与えている。スペシャルオリンピックス開催には万全の体制で臨む。

Q 質問 機は熟した。スポーツ健康都市宣言をせよ。以下を市内4大マラソンと位置付けよ。
 ・八海山登山マラソン
 ・南魚沼グルメマラソン
 ・浦佐温泉耐久山岳マラソン
 ・南魚沼コシヒカリRUNマラソン

A 市長 常に4大マラソンと考えている。スポーツ都市宣言は、中途半端な時にやっても注目度があがらない。合併10周年記念式典時も1つの案だ。



グルメマラソン



南魚みらい創幸クラブ
永井 拓三

下水道不明水について

答 引き続き、市内で現状を把握し改善に努める

Q 質問 中越地震や新潟・福島豪雨に代表されるように、南魚沼市は災害に対する被害が多い場所である。その観点から下水道不明水の問題は、地盤沈下や汚水の溢水などを考えると、下水管の老朽箇所を早急に補修し対策をとる必要がある。今後の下水道不明水に対する調査と計画はいかに。

A 市長 冬期間に発生している不明水の流入には憂慮している。不明水対策の費用はかかるが、検討し順次対策をとる。27年

度に面整備を完了させる。28年度からは下水道管の維持管理へと移行をしていく。老朽化対策は、管渠の健全度の診断を行い延命化措置を行う。

非常電源としての小水力発電について

答 採用が可能かどうかの検討を行っている

Q 質問 昨今、自然再生エネルギーは注目をされているが、防災面の非常電源として活用を念頭に、最低限の行政機能を維持するために導入はどのように考えているか。また、現在の非常時の電源について備えはいかに。

A 市長 再生可能エネルギーに関しては、低コストで効率的なエネルギーの導入、融雪への活用として渴望している。モニター実験を行い、費用対効果も含め我が市に適したものを検証をしている。非常電源と



魚沼市 駒の湯山荘の小水力発電施設

しては、塩沢・大和庁舎では8kwを最低限25時間。災害対策本部を置く本庁舎は90kwを33時間維持できる状態である。南魚沼市民病院は2台の発電機を使い電気の供給を行うこととなっている。小水力発電については可能性は認めるが、非常用電源としては建設費用やメンテナンスも含めて、問題点があると考えているが、可能か否かの検討を行っている。

総務文教委員会



金城わかば児童館

○期日 平成26年5月27日
○調査内容
①金城幼稚園の現状について
(含 現地調査)

幼保連携型認定こども園、金城幼稚園・金城保育園は文科省・厚生労働省全国総合施設モデル事業の指定を受け、認定こども園制度の調査研究を経て新潟県初の認定こども園の認定を受けています。施設の現地調査を行い、その後、理念等の説明を受けました。

【質疑応答】
Q 公営と民営では職員の待遇に差があるのかどうか。
A 公務員とは差があると思う。その分、先生達は、やる気だったり意欲、また教育理念を考えながらいっしょにやって行けるところで、補っていると考ええる。

Q 保護者は民間というところのどこに、不安を感じていると思うか。
A 逆に私たちの保育内容、教育

理念をもとに選んできていただいて思うので不安というのではないと考えている。

②大原運動公園整備について
(含 現地調査)

野球場については、平成26年4月1日から5年間の指定管理を受けた「BMS南魚沼スポーツコミュニティ」がオープンに向けた準備状況の説明を行いました。多目的グラウンドの改修工事については、11月16日のNHKサッカーフェスタを竣工祝いと考え進めています。運動施設の申し込み管理システムは、ウェブサイトで利用できるようにしたいとのことでした。第二期工事についても説明がありました。

【質疑応答】
Q 高校野球の予選会が本当にくるのかどうか。
A 野球連盟を通して働きかけている。またベースボールマガジン社新潟支社とおして高校野球連盟に公式試合をしてほしいと話を進めている。

Q ネットが低くて外野は大丈夫なのか。また、内野の駐車場はどうか。
A 今後練習試合など状況を見て、危ない部分については検討する。ただ、3塁側の駐車場は高いファールボールが来ると車に当たる可能性があるのです、その部

分については駐車場の入場制限等も考えている。

Q 駐車場の狭すぎると思うが、今後どのような考え方があるのか。

A 駐車場のスペースは多目的グラウンド側の改修による増設と舞子高原スキー場の駐車場も利用させていくことで500台くらいは駐車可能になる。二期工事でも増設する予定である。

③小中学校統合計画について

現状からみた学区再編の必要性について、まず1番目として児童数が年々大幅に減少していくという事実からの検討が必要であり、2番目に小規模校によるメリット、デメリットについて多くの意見がでてくると思われる検討が必要という事です。急がれる順位は城内中学校、大巻中学校、五十沢中学校の3中学校の統合、次に複式学級の後山小学校、栃窪小学校の統合、第一上田小学校と第二上田小学校の統廃合、最後にその他の対象小学校の統廃合です。

【質疑応答】

Q 城内・五十沢・大巻3中学校の統廃合だが、この地域を離れて出ている人は、まだ情報をキャッチしていない。140年の歴史をどのようにしめくくるのか。
A 関係者への周知について今後進めていく。いろいろな人にか

かわってもらって気運を高め、その過程で、閉校式典も五十沢で2つやってきたので、それ以上のことをやりたいと思っている。

④市制施行10周年記念事業について

市民のみならず自主運営事業の16件を含む約50程度の事業を予定しています。地域を元気にするもの、そういったものを基本方針に掲げまして、主要な事業として進めてきました。

【質疑応答】

Q 採択基準について
A 市報の記事では紙面も限られているので、具体的には募集要領をとりよきてもらい、その中に書いてあるという形である。対象になる経費や上限がだいたい100万円程度で考えていることなどが書いてある。今のところ予算は、ほぼ満額になつている。

⑤防災計画と業務継続計画について

4月13日に発生した宮野下地下内の土砂崩れについて報告を受けました。
今回の改正について、1番目としては地区防災計画に関する規定、2番目として避難場所・避難所の指定、3番目が避難行動要支援者台帳、名簿の作成という3点の説明を受けました。

産業建設委員会

○期日 平成26年4月23日

○調査内容

①スキー場の入り込み状況と冬季観光の課題について

今シーズンのスキー場の入り込みは125万4,610人で前年対比5・21%増でした。2月中旬に関東地方で大雪があり、相当数のキャンセルがありました。影響はスキー場だけでなく宿泊業でも大きく、約9,100人、1億4,000万円程度の影響と推計しています。ただし例年では3月は入り込み客数が落ちますが、その分を3月であまり落ちずに取り戻しました。

【質疑応答】

Q キャンペーンでどのくらいの効果があがっているのか。また、観光協会にすべて委託するのではなく、商工観光課で何かできるのではないか。

A 番号付きのリフト無料券をキャンペーンの中で配布しており、どこでもらったお客様が使ったかわかるように観光協会でも回収している。だが、多くて30%、少なければ10%程度しか回収できていない。

Q 外国人観光客の統計をとるべき。戦略を練っていくうえで必要な数値になると思う。現在の統計に外国人という項目を入れれば集計できると思うので取り組んでいきたい。

②六日町街づくり株式会社との現状とラ・ラの運営について

今は図書館を誘致したことでテナント数が減ったため、テナント会は中止してそれぞれが販促活動を独自に行っています。今後は5つの専門店、2つの医院及び図書館を含めた施設それぞれが連携・協調できる機動的な組織体制づくりを進めていきたいとのことでした。

【質疑応答】

Q 図書館の開館に向けて、残ったテナントの売り上げに結びつけるために、図書館の新しい機能を新しい客層に結び付けていくための具体的な動きはどの程度進んでいるか。

A 各テナントがそれぞれ販促活動を行っているが、バラバラにやっていたのでは知名度が上がらない。それを連絡して機動的に動く組織を立ち上げようということになった。活動はそれぞれのテナントが行い、それをラ・ラとして街づくり会社がまとめるといことである。組織を立ち上げていないので具体的なものはまだない。

③六日町中心市街地の活性化について

大型店との競争があり会員も苦しみながら頑張っている現状で、

六日町商工会に何ができるかと考え、まずは会員を留め置き、次に会員がコミュニケーションをとりながら情報交換できるような商工会を目指して取り組んでいます。また地域の金融機関や保証協会との懇談会も計画しています。

【質疑応答】

Q 図書館設置にあたって、地域の活性化や商店街の活性化を一番に掲げてきたはずである。なぜ、具体的な活性化案が出てこなかったのか。こんなことで本当にいいのか。

A 本来は図書館の話があった数年前から商工会として動きがあるべきであったと思うが、商工会としてもそういう指導方向に取り組んでこなかった。商店街のほうでもそういった話が出てこなかった。商店街もそこまで盛り上がりがないというのが残念ながら実態である。

④新たな農業農村政策について

農業構造の改革をさらに進めていくために、国では農林水産業・地域の活力創造プランを取りまとめました。農業を足腰の強い産業としていくための産業政策と、農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための政策として、以下の4つの農業改革政策を進めることとなりました。

(1)農地の中間管理機構の創設。

(2)経営所得安定対策の見直し。
(3)水田フル活用と米政策の見直し。
(4)日本型直接支払制度の創設。

【質疑応答】

Q 多面的機能支払等、一般の方や区長が関わる部分については総務課等他の部署と連携しているのか。

A 説明会に入る前に、企画政策課で担当する地域コミュニティ活性化事業の事務局の方を呼んで、企画政策課のチームと一緒に新たな制度に取り組むメリット等を説明した。実際は多面的機能支払に取り組み組織の事務組織がまだ立ち上がっていないので、地域コミュニティの事務局にお願いできる部分はお願いするなど、連携の中で進んでいる。

Q 農だけでなく林にも制度があると周知しているか。

A 基本的には、まず農業の多面的機能支払のほうに積極的に取り組んでほしいと周知している。



南魚沼市図書館

社会厚生委員会

○期日 平成26年4月30日

○調査項目

① 廃棄物可燃施設スラッグの利用に
ついて (含 現地調査)

環境省からの「一般廃棄物の溶融固化物(スラッグ)の再生利用に関する指針」により、市が自ら発注した公共建設工事においてスラッグを利用する場合は、廃棄物処分には該当しません。しかし、新潟県には、スラッグ入りコンクリートを二次製品の使用を推進する指針はなく、この点について説明を受けました。

【質疑応答】

Q スラッグをコンクリート2次製品に利用できればスラッグ処理業務委託料として計上されている予算が削減できるが、見通しは。

A 製造する2次製品は限定的であり、利用量は全量に対して僅かな量のため、今年度も委託料は執行する。今後は2次製品の使用を拡大し委託料を削減していかねばならない。

② 太陽光発電システムの設置状況
について (含 現地調査)

経済産業省の「平成25年度地域再生可能エネルギー発電システム等導入促進対策事業」を活用した特別養護老人ホーム「雪樺の里」の屋上に設置した太陽光発電システムについて社会福祉法人 八海福祉会から説明を受けました。

【質疑応答】

Q モジュールの発電効率と、夏場の使用量に対する発電量の見込みは。

A 1日の発電量の最高値が42kWなので、発電効率は90%強だ。夏場の高温状態では発電効率は下がる。使用電力は月に4万5,000〜5万kWくらいであり、4月の発電量が多少かつたといつても6,000kWなので、発電量はほんの一部である。

【質疑応答】

Q 従来太陽光発電は自己消費よりも売電するのが一般的だが、この事業は売電を対象としていない。

A この発電システムは、いつまで使用する予定か。

A 太陽光発電システムの減価償却は18年間である。18年以降は1年でも長く使用できればコストは下がる。

③ 医療再編対象4病院間の協議について
(含 現地調査)

来年度6月1日開院となる魚沼基幹病院の救命救急医療と人工透析、周産期医療への県当局への要望内容と、魚沼圏域救急医療連絡協議会について説明を受けました。

【質疑応答】

Q 現在、県立病院で人工透析を行っている患者には、同じスタッフで対応することが難しい状況となるが、コンサルはどう関わるのか。

A コンサルは関わらない。患者とスタッフが顔のわかる関係を築くため、3年を目標に人工透析担当経験がある看護師を市に派遣して欲しいと県当局にお願いしている。

Q 人と物の移行をいかにスムーズに行うかが重要な課題となるが、どう進めるのか。

A 病院長同士で大枠を決めてもらい、現場が具体的にそれらを検討して進めていくという2つの方向性でやっていく。

④ 市立病院再編について
(含 現地調査)

来年度に行われる医療再編は、再編対象病院が魚沼地域全体の医療状況を視野に入れ、段階的に進める必要がありますが、この段階的な移行についての説明を受けました。

Q 非常勤医師や臨時職員を含めても、医療スタッフを確保できるのか心配だが。

A 当面不足する医師については、常勤換算をして非常勤医師を置くことになる。看護師は募集活動を進めているし、透析医療では派遣の協議を進めている。また、再編時には城内診療所も対象となるので、考慮する。

⑤ 南魚沼市保育園施設整備計画について

保育のニーズを的確に把握しながら、民間に任せられるものは民間に、という基本方針に基づく検討を進めて来た、民営化、統廃合によって軽減される経費の活用などのついでに説明を受けました。

【質疑応答】

Q 塩沢地区保育園の再編は、慎重かつ丁寧に進めているか。また、今後の進め方は。

A 第1回目の会議が終了したところで、まだ道筋は見えていない。案を出しながら再度話し合いをするが、市としては中・塩沢のいずれか一方に統合できればと考えている。慎重かつ丁寧に行う。

Q 市内に進出を検討している民間参入が、この地域にとつてどうなのかを考えるべきではないか。

A 地元の民間団体の参入はこれまでもあるが、都会からの参入には慎重に対応しなければならぬ。



太陽光発電 (雪樺の里)

地域医療対策調査特別委員会

○期日 平成26年5月12日

○調査項目

①現地調査

市民病院の建設予定地の現地調査を行いました。現地において、配置について説明を受けました。また、平成26年5月24日に安全祈願祭が執り行われるとの説明を受けました。

②医療再編について

医療再編に伴う移行について、患者引継ぎを含めた診療機能の移行の考え方の説明がありました。

●魚沼基幹病院は、開院後に、ある程度の時間をかけて段階的にフル稼働になります。

●南魚沼市から新潟県に対して、移行時の患者の安全を第一としていきます。特に、絶対に空白が許されない「救命救急医療」「人工透析医療」「周産期医療」の3部門については、移行時にはきちんと医療提供してくださいとお願いをしています。

●患者引継ぎに伴う移行は、医療再編の数か月前から、医師が患者の意向を確認しながら移行を進めて行くこととなります。

この医療再編は、病院が移転するだけではなく、患者の移行も伴うので、患者の安全第一で進めて欲しいと考えます。

【質疑応答】

③市立病院群について

Q 新ゆきぐに大和病院は、内科主流と言いつつも、例えば、整形外科での容態の観察や湿布薬の処方など、日常的な診療対応はできるのか。

A 新ゆきぐに大和病院の外来診療は、内科系の診療が中心になる。整形外科や外科は市民病院の医師や非常勤の医師で、診察曜日を決めて対応したいと考えている。

Q 一次医療で皮膚科等の専門外来的な部分は、魚沼基幹病院で診てもらえるのか。

A 原則は役割分担である。しかし、診療科や症状ごとに受診先の病院が決まってくる。周辺地域にない診療科は魚沼基幹病院となる。

Q 病院のかかり方等について、市民に向け発信をする必要があるのではないか。

A 病院のかかり方等について、保健課の研修会等の機会を捉えて啓発活動を積極的にしていきたい。

Q 地域医療の中で医師会との連携が重要である。協議状況はどうか。

A 県立六日町病院とは、医療機能の引継ぎについて作業部会が動き出した。在宅医療の検討会には、ゆきぐに大和病院の医師も入って検討をしている。

市立病院再編の現状と計画等の策定状況について説明がありました。

●市民病院開設に向けて、病院事務部に病院開設準備室(4名体制)を設置しました。

●市民病院の「運営計画の策定」「業務委託に係る方針や業者選定に向けた仕様書の作成」「医療機器設備確認とリストの作成」などを進めています。

●市民病院の機能として、「病床数は3病棟で140床」「予定診療科目は、現ゆきぐに大和病院と同様の診療科」「外来診療予定日として月曜日から金曜日」「透析医療・リハビリテーション医療」「在宅支援医療」を予定しています。

●新ゆきぐに大和病院の機能として、「病床数は40床」「診療予定科目は、内科・和漢診療科・精神科・外科・整形外科・リハビリテーション科・歯科口腔外科」「外来診療予定日として月曜日・土曜日」「高齢者医療・在宅支援医療」を予定しています。

●医師確保について、関係大学や病院機関、個人に対して組織的な取り組みをしています。

【質疑応答】

Q 医療スタッフの確保状況はどうか。医師の充足状況についてもどうか。

A 市立病院群の医師確保は懸命に努力をしているところである。看護師については、人工透析医療など専門部門の職員派遣要請

を県病院局に行っている。

魚沼基幹病院の医師確保は、開院時の医師数はほぼ大丈夫と聞いている。

Q 病院群での新たな取り組みがあれば教えて欲しい。

A 病気の治療は、入院・外来と在宅がある。在宅医療は患者の所において医療を行う第3の医療であり、市民病院から在宅医療の輪を市内に広げたいと考えている。

Q 療養病床はどうなるのか。

A 現在、ゆきぐに大和病院38床、城内診療所4床である。どこで確保するかは決めていないが、今後、考えていきたい。



市民病院建設地鎮祭

永井	塩川	田村	清塚	勝又	佐藤	桑原	山田	笹木	林	鈴木	塩谷	小澤	黒滝	中沢	寺口	中沢	岡村	今井	腰越	阿部	牧野	阿部	関	樋口	若井
拓三	裕紀	眞一	武敏	貞夫	剛	圭美	勝	晶	茂男	一	寿雄	実	松男	一博	友彦	俊一	雅夫	久美	晃	俊夫	晶	久夫	常幸	和人	達男
み	み	共	み	政	民	政	政	歩	歩	歩	歩	み	み	み	民	民	共	政	政	政	歩	歩	み	み	み
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○

第一回臨時会で可決した議案 (すべて全会一致)	
●	専決処分した事件の承認について(南魚沼市税条例の一部改正について)
●	専決処分した事件の承認について(南魚沼市税条例の一部改正について)
●	専決処分した事件の承認について(南魚沼市都市計画税条例の一部改正について)
●	専決処分した事件の承認について(南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について)
●	専決処分した事件の承認について(平成25年度南魚沼市一般会計補正予算(第6号))
●	公用車事故に係る損害賠償の額を定め和解することについて
●	工事請負契約の締結について(南魚沼市養護老人ホーム魚沼荘改築(建築)工事)
●	工事請負契約の締結について(南魚沼市養護老人ホーム魚沼荘改築(電気設備)工事)
●	工事請負契約の締結について(南魚沼市養護老人ホーム魚沼荘改築(機械設備)工事)
●	工事請負契約の締結について(消防救急無線デジタル化事業(本体工事))

【会派名称】 み：南魚みらい・創幸クラブ， 共：日本共産党議員団， 政：市政クラブ， 歩：歩む会， 民：新生市民クラブ

(H25年11月～H26年3月)

(単位：円)

会派名	人数	収入の部 交付額	支出の部				計	内 容	返還額
			調査研究費	広報費	会議費	資料購入費			
南魚みらい・創幸クラブ	9	450,000	462,930	0	0	0	462,930	●視察 平成26年2月12日～13日 9人参加 長野県佐久総合病院：地域包括ケア、人材確保・育成等について 松本市：「健康寿命延伸都市・松本」について ●視察 平成26年3月26日 9人参加 観光庁：観光立国の実現について	0
歩む会	6	300,000	328,505	0	0	0	328,505	●視察 平成25年12月11日～12日 5人参加 農林水産省：生産調整・TPPについて 東京：ネスパス新潟 ●視察 平成26年1月7日～8日 6人参加 新潟市：健康づくり財団 他 長岡市：空き家条例と建物解体の現地調査 ●視察 平成26年3月26日～27日 6人参加 観光庁：観光立国の実現について 坂戸市：表敬訪問と葉酸プロジェクト推進事業について	0
市政クラブ	6	300,000	315,432	0	0	0	315,432	●視察 平成26年2月4日～7日 6人参加 京都市：御池小中一貫校、京都学びの街 生き方研究館 京都市：清酒の普及の促進に関する条例について 大阪市：長居配水場小水力発電施設、防災体制について	0
新生市民クラブ	3	150,000	136,510	0	0	15,750	152,260	●視察 平成26年2月5日～6日 3人参加 埼玉県三郷市：日本一読書のまち事業について 静岡県立がんセンター：がんセンター見学とファルマバレープロジェクトについて ●視察 平成26年2月28日 2人参加 新潟日報メディアシップ：雪ルネサンス新潟シンポジウム ●図書購入	0
日本共産党議員団	2	100,000	0	60,955	0	0	60,955	●会派広報紙「市議会報告」発行(第32号)	39,045
計	26	1,300,000	1,243,377	60,955	0	15,750	1,320,082		39,045

6月定例会の全議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

氏名	会派
	採決結果
南魚沼市税条例の一部改正について	可決
南魚沼市火災予防条例の一部改正について	可決
平成26年度南魚沼市一般会計補正予算(第1号)	可決
平成26年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
平成26年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第1号)	可決
南魚沼市新市建設計画の変更について	可決
財産の取得について(ロータリ除雪車2.6m級 1台)	可決
財産の取得について(ロータリ除雪車2.6m級 1台)	可決
人権擁護委員の候補者の推薦について(若山文雄氏)	同意

◎議案

南魚沼市税条例の一部改正について	可決
南魚沼市火災予防条例の一部改正について	可決
平成26年度南魚沼市一般会計補正予算(第1号)	可決
平成26年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
平成26年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第1号)	可決
南魚沼市新市建設計画の変更について	可決
財産の取得について(ロータリ除雪車2.6m級 1台)	可決
財産の取得について(ロータリ除雪車2.6m級 1台)	可決
人権擁護委員の候補者の推薦について(若山文雄氏)	同意

◎請願・陳情

「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願(請願者:新潟県聴覚障害者協会 会長 石川渉)(紹介議員:清塚武敏)	採択
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書(請願者:新潟県教職員組合南魚沼支部 執行委員長 板垣幸男)(紹介議員:寺口友彦)	採択

◎議員発議案

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について(提出者:佐藤剛)	可決
「手話言語法」制定を求める意見書の提出について(提出者:塩谷寿雄)	可決
集団的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出について(提出者:田村眞一)	否決
南魚沼市農業委員の推薦について(内山裕子、中澤玲子、山田幸子)	決定

平成25年度 南魚沼市議会政務活動費収支一覧表

(H25年4月～H25年10月)

(単位:円)

会派名	人数	収入の部 交付額	支出の部				計	内 容	返還額
			調査研究費	広報費	会議費	資料購入費			
南魚みらい クラブ	8	560,000	706,600	0	0	0	706,600	●視察 平成25年6月3日～6月5日 8人参加 岩手県陸前高田市:中心市街地、漁港等の災害復旧現場視察 青森県八戸市:観光行政と八戸ポータルミュージアムについて 他 青森県六ヶ所村:六ヶ所村・日本原燃サイクル施設の視察 青森県青森市:青森県観光物産館の視察 他	0
歩む会	6	420,000	569,790	0	0	0	569,790	●視察 平成25年6月24日～26日 6人参加 熊本県阿蘇村:阿蘇国立公園「阿蘇ファームランド」の取組みについて 熊本県美里町:「フットパス」等観光の取組みについて 熊本県庁:「熊本県庁チームくまもん」「県産米森のくまさん」について	0
市政クラブ	6	420,000	222,456	172,567	0	61,320	456,343	●視察 平成25年6月26日～28日 6人参加 茨城県ひたちなか市:ひたちなか海浜鉄道(株)について 他 茨城県鹿嶋市:市町村共同公債について 他 茨城県笠間市:地域ポイント制度について 他 ●会派広報紙「市政クラブ議会報告」発行 ●図書購入	0
市民クラブ	3	210,000	89,118	159,164	0	0	248,282	●視察 平成25年6月28日 (中沢俊一議員と合同視察) 富山県射水市 射水市民病院の先進的ICT遠隔医療システムについて ●視察 平成25年7月18日～19日 3人参加 石川県小松市:市民協働の「こまつ幸せへの道しるべ」推進プランについて 上越市:北陸新幹線開通とほくほく線「特急はくたか」廃止について 他 ●会派広報紙「市民クラブ」発行(第10号)	0
日本共産 党議員団	2	140,000	80,200	116,829	0	0	197,029	●平成25年8月3日～5日 2人参加 第55回自治体学校 in 新潟 1日目:全体会 2日目:分科会・講座 3日目:特別講演 ●会派広報紙「市議会報告」発行(第30号・第31号)	0
中沢 俊一	1	60,000	19,460	0	0	0	19,460	●平成25年6月10日 作家:楡周平氏 面会・取材 ●視察 平成25年6月28日 (市民クラブと合同視察) 富山県射水市 射水市民病院の先進的ICT遠隔医療システムについて	40,540
計	26	1,810,000	1,687,624	448,560	0	61,320	2,197,504		40,540

「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会で要望活動を実施(7月1日、9日)

例年1月に行っている要望活動ですが、今年は7月1日、9日の二日間で3班に分かれ、国、県の機関に要望活動を行いました。



北陸地方整備局



高崎河川国道事務所



国土交通省

〔役員構成〕										
会長	副会長	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	監事	監事
関 常幸 (南魚沼市)	南雲 正 (湯沢町)	関 忠夫 (湯沢町)	今村 定一 (湯沢町)	佐藤 守正 (湯沢町)	山田 勝 (南魚沼市)	塩谷 寿雄 (南魚沼市)	黒滝 松男 (南魚沼市)	中沢 俊一 (南魚沼市)	岡村 雅夫 (南魚沼市)	師田 保 (湯沢町)

全国市議会議長会より表彰を受けました。

- 腰越 晃 議員 (市議会議員在職10年以上)
- 牧野 晶 議員 (市議会議員在職10年以上)
- 阿部 久夫 議員 (市議会議員在職10年以上 および正副議長4年以上)
- 樋口 和人 議員 (市議会議員在職10年以上)



樋口和人議員 阿部久夫議員 腰越晃議員 牧野晶議員

要望内容

- ①一般国道17号新三国トンネルの早期完成と湯沢町・南魚沼市間の改修整備について
- ②上越新幹線の活性化と新潟空港への延伸について
- ③公共道路等除雪費を経営事項審査の「土木一式」への計上について
- ④河川災害及び土砂災害等に強い社会基盤の整備について
- ⑤国道17号六日町バイパス・浦佐バイパス及び上越魚沼地域振興快速道路国道253号の整備推進について
- ⑥東京オリンピック、パラリンピック選手村に「魚沼産コシヒカリ」の採用に関する要望について

編集後記

光陰矢のごとしと言いますが、昨年11月に新人議員になって、あっという間に9か月が過ぎました。その間、多くの先輩議員の方々より、指導・助言をいただきながら日々奮闘してまいりました。

今回の編集委員会は半数の4名が新人議員で、不慣れではありますが、その分は初心者同士の緊張感で補えるものと思えます。市民の皆様から「正確でわかりやすく、読みやすい誌面」と評価いただけるよう努めたいと思います。

市行政の数々の情報や、一般質問・委員会情報等、限られたスペースに収まるよう字数をまとめる作業など、新人議員にはとてもよい勉強になっていきます。

一般質問については概略しか載せられませんが、できれば議会傍聴に来ていただくか、FMゆきぐにで聴いてもらうかして、市政に関心を持っていただければ幸いです。

編集委員 勝又貞夫

9月議会 予告

9月に市議会定例会を開催します。

9月1日～19日(予定)

お問合せは 議会事務局 (☎773-6650) へ

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
寺口 友彦	永井 拓三	田村 眞一	清塚 武敏	勝又 貞夫	桑原 圭美	笛木 晶	塩谷 寿雄

議会広報編集 特別委員